

2024年2月1日

学校長 様

一財)日本ペップトーク普及協会
専務理事 浦上 大輔

「ペップトーク実践モデル校」の募集について

拝啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、今年、全国の小学校に大谷翔平選手からグローブが寄贈されました。WBC 決勝開始前、大谷選手の「憧れるのをやめましょう」のスピーチが、やる気を引き出すペップトークとして広く認知されております。当会では「日本人の自己肯定感を世界レベルに」との理念を掲げ、全国200名の講師と500名を超えるペップティーチャーが、やる気を引き出す言葉かけペップトークの普及活動を進めております。

教育機関での活用事例として、ペップトーク実践モデル校(公立小・中学校)3校において、年3回程度の出前授業、職員研修、保護者講演を2年間継続して行ったところ、生徒の自尊感情・自己決定力・コミュニケーション能力の向上に加え、生活改善などの行動変容が見られ、子供たち・関係者から多数の喜びと感謝の声をいただいております。

この度、新規に「ペップトーク実践モデル校」を公募する運びとなりましたので、募集要項を送付いたします。基本的に2年間の継続が条件となりますが、授業や講演に加えて、教職員のwell-Being、心理的安全性、働き方改革など、貴校の課題解決に向けた相談も含め、サポートさせていただきます。

つきましては、下記の申込フォームから必要事項にご回答の上、ご応募ください。

年度末、進級・進学準備などご苦勞される時期かと存じますが、日本の未来を支える子供たちの自己肯定感を育むために、お力添えの程、どうぞよろしくお願いいたします。

敬具

記

【選考概要】応募多数の場合は抽選となり、選考結果はメールでお知らせします。また、一次選考を通過した学校の責任者の方には、オンライン説明会にて応募の動機、実践に向けた期待を3分程度でプレゼンしていただいた後、選考結果を通知いたします。また、選考に至らない場合も、貴校職員にペップティーチャー講座に参加いただくことで、「ペップトーク実践校」として協会からサポートを受けられます。詳細は協会URLからご案内しておりますので、是非ご活用いただければ幸いです。

【申込フォーム】<https://00m.in/mfugy>

【〆切】2月29日(木)17:00



連絡先 〒216-0004神奈川県川崎市宮前区鷺沼4-11-9-410

一般財団法人 日本ペップトーク普及協会 <https://www.peptalk.jp>

担当:教育普及部部长(荒谷卓朗) bbm.genki@gmail.com 050-7116-1987

ペップトーク実践モデル校募集要項

日本ペップトーク普及協会教育普及部

【要件】

- 1 3者の実践:①児童生徒への授業、②職員研修、③保護者講演について、①②③を年間で各2回以上行う
- 2 数値的評価:自己肯定感アンケートで実施前後の変容を見取る
- 3 自走する組織:期間は基本2年継続希望する学校にプログラムを提供する
- 4 リーダーの実践:校長がペップティーチャーを取得する
- 5 推進メンバーの実践:教諭がペップティーチャーを取得する(2名)
- 6 実践報告:実践報告レポートを協会ホームページに掲載する
- 7 優先要件:ペップティーチャーがいる学校を優先する

【費用】

- ・担当講師の派遣費用は協会が負担する
- ・要件4.5.に関して、初年度合計3名までペップティーチャーセミナー参加費を協会が負担する。(2年目も予算範囲内で支出可能)

【実施上の留意点】

- ・推進メンバー2名を選出、校長を含む3人で推進チームをつくり、初年度ペップティーチャーを取得
- ・担当者のメールアドレス・連絡先を提供する
- ・授業の実施前に自己肯定感アンケートに回答する
- ・授業テキスト・資料データを提供する(必要に応じて印刷)
- ・事後アンケートへの回答をする
- ・報告資料は担当講師が作成をサポートする

【授業&コミュニティサポート】

- ・主担当講師が授業、職員研修、保護者講演を行う
- ・職員研修資料・アンケート分析資料を提供
- ・複数学級で授業をする場合はサポート講師が担当
- ・ペップティーチャー受講者には授業づくりをサポート

【継続に向けたビジョン】

- ・ペップティーチャーは協会テキストを用いて授業できる
- ・2年目以降は自校の先生がペップ授業を行うことを基本とする

【選定手順・スケジュール】

- 実践モデル校の公募期間～2月初旬に協会HP・SNSにて案内→2月末〆切
→応募多数の場合抽選とする。(一次選考結果を3月初旬に通知)
→一次選考通過校は3月10日前後に説明会へ参加(3分程度プレゼン)
※説明会の日程は別途通知する
→3月20日までに選定し、内定を通知する
→4月以降、正式通知後、担当者間で打合せを行う

【サポート対応】選考に至らない場合も、ペップティーチャー講座を受講した先生のいる学校は「ペップトーク実践校」としてサポート(講師派遣)を行う。